

ASAHI TIME

アサヒタイム

空室対策として高い実績を誇るリノッタのリノベーションや朝日オリジナルリノベーションの成功事例をお伝えいたします。

CASE4 パレジョリーヤマダ 101号室 [高岡市赤祖父]

住まいのトータルサポートを目指して



外壁補修の役割は大きくわけて2つあります。1つ目は「建物の美観の向上」です。お部屋探しのお客様にとって「第一印象」は重要です。外観のデザイン性、劣化の状況でお部屋の申込みにも左右されることがあります。また、既入居者様の入居期間の長短に美観の維持管理は重要です。もう1つは「建物の保護」です。外壁は建物が完成したときから常に太陽光や雨、風にさら

外壁補修の重要性

今回は内装のリフォームに加え、外壁の補修、駐車場の白線引き直しと「住まいのトータルサポート」をさせて頂きました。

メンテナンスは物件の「健康管理」

物件データ Housing

物件名：パレジョリーヤマダ 101号室
所在地：高岡市赤祖父
構造：鉄骨造3階建て(1階部分)
築年数：19年
専有面積：63.67㎡
募集店舗：アパマンショップ高岡リール店
お問合せ：PST ☎0766-26-0088

間取り図 Madori



一見、お部屋探しのお客様には無関係のように思いますが、お客様をご案内した際に駐車場の白線が消えていたり、薄くなっていたりすると、お客様は「車が停めにくい」「他の車とトラブルになるのではないかと

駐車場の白線引き直し

「外壁補修」というと費用がかかるイメージがありますが、むしろ一度に補修をするのではなく、さまざまな汚れや経年劣化など

この外的損傷にこまめに気を配り、建物の機能と安全性のため、また資産価値を保つために定期的な点検をおすすめします。

リビングと和室をつなげ空間の広がり演出



▲襖と枠を取り、和室とリビングを開放的にしている

独立していたリビングと和室を襖と枠をとることで、和洋折衷の広々としたひとつのリビングとして使用できるようになりました。また、タタミに段差をつけ、タタミでありながらソファ感覚でも使えるようにしました。

デザインコンセプト

差別化できる収納力

収納が少なかったリビングには、整理しやすく、かつ分割して収納ができるカウンターを設けました。パントリー、ストック品、食器等を収納できます。

実感して頂けるようにしました。

このような入居者様へのちよつとした気遣いが差別化につながります。



▲洗剤等のストックをできる棚を設置



▲各洋室に広めのクローゼット



▲上部に収納棚を設置



▶収納が少なかったキッチンに分割収納できるカウンターを設置



▲多目的カウンターと収納棚を設置し利便性をアップ

和室の一角にはカウンターを設置。子供の勉強机、趣味等の多目的カウンターとして使用できます。リビングで食事を済ませた後のくつろぎ空間として使用できるように和と洋のバランスを考えた間取りとなっております。